

# Stop! アベ政権

このままにしておけない!  
国会軽視・冒涇の政治

後手後手、強権的  
コロナウィル対応

ダイヤモンドプリンス号への対応は海外からも大きな批判を受けています。初期の感染防止のために国がどんな対策を講じなければならないのか、その責任は重大なのに、検査抑制の方向でここまで来てしまいました。今頃になって、強権的な「要請」を出しながら、対策予算は153億円と少なすぎ、アメリカは2800億円、シンガポールは5000億円もあります。

## 徹底究明! 「桜を見る会」問題

今、首相がこの問題で問われている公職選挙法違反や政治資金規正法違反は犯罪です。これを覆い隠すために、検事長人事まで手を出しています。

権力の私物化、ウソの答弁、文書の隠蔽、こんなことがまかり通ったら、三権分立も崩壊し、法治国家とはとても言えません。

「コロナウィルス」対応が最優先される今、安倍首相はここを隠れ蓑に逃げ切りを図っているのでしょう。

「犯罪者」にこの国のリーダーを任せるわけにはいきません。国会での徹底的な追及を求めると同時に、私たちもしっかり声をあげましょう。「こんな政治は許せない」

「これはおかしい」と声を上げ続けていきましょう

## 危険! 中東への自衛隊派遣

中東への自衛隊派遣は国会審議も行われていません。こんな重要なことが閣議決定だけで行われているのです。

「調査・研究」「情報収集活動」と説明していますが、中東の国々から見れば、イランへの軍事的圧力を加えようとしているアメリカの有志連合への参加と同等に見なされかねません。

不測の事態が生じれば武器使用ということになり、相手によっては武力紛争に発展しかねない危険なものです。イランとは良好な関係を保ってきた日本が果たすべき役割は、イランとアメリカの対話のための仲介の労をとることです。

市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎ

連絡先 080-1673-8391 多々良

市民と野党の共闘で政治を変える